

テーマ：これからの不平等の話をしよう

～性別から見るアンバランスな世界～

ファシリテーター（グループ）：新潟国際情報大学：世界の不平等チーム

1：本テーマの趣旨

まずはあめを配るゲームにより、平等や不平等な感覚を体験する。

次に様々な事例を通して、立場によって平等か、不平等かの感じ方の違いがあることに気付く。

そして、不平等だと感じた問題に出会ったときに、解決策を模索する力を身につけられるよう、ロールプレイングをする。

2：本テーマの目的

このワークショップを通して、物事には様々な立場からの見方があることに気付き、そこから参加者に「平等とは何か」を考えるきっかけにしてほしい。

また、不平等だと感じる問題について、解決策を模索する力を養ってもらいたい。

3：本テーマをとりあげる理由

世界には様々な問題が存在するが、男女間の不平等の問題は、どこの地域にも存在しうる身近な問題である。

また、この問題は賃金格差や教育格差などの諸問題にまたがっているテーマであることから、子どもたちと共に考えてみたいと思い、このテーマを選択した。

4 : 活動過程 (使用時間 : 90分 参加人数 : 30人)

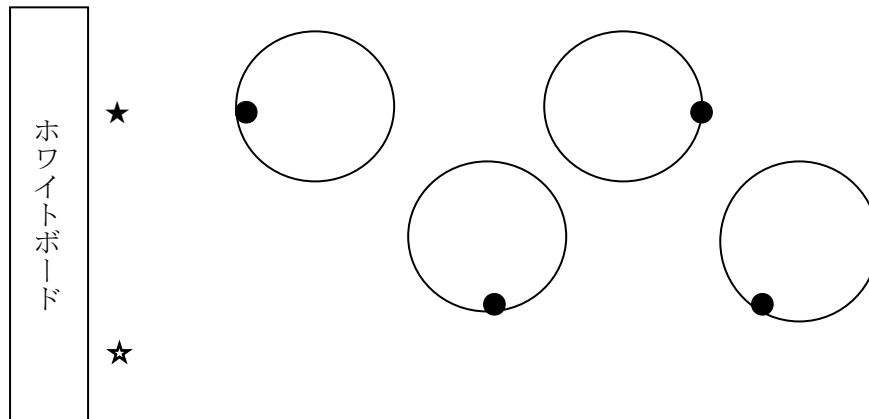
過程 (所要時間)	活動内容 そのねらい	ファシリテーターの支援 活動(教材, 発問, 説明, 指示)	使用する教材	生徒の予想される反応. その他, 注意事項
アイス ブレーキ ング (15分)	名札記入 あいさつ チーム分け 自己紹介 手ほどきゲーム これから WS を始めるにあたり、チーム内およびクラス全体で話しやすい空気をつくる。	「今日呼ばれたい名前を書いて下さい」 「今日一緒に活動するメンバーで自己紹介をしましょう」 「緊張をほぐすためにゲームをしたいと思います」	名前シール ペン	名札を配りつつ参加者と話す。 チーム内の話し合いがスムーズになるように、話しやすいように促す。
導入 (20分)	あめの配分ゲーム ①誕生日順に並んでもらう ②1月の人は10個、12月0個というようにあめを配る ③一人ひとりに質問をする ・あめを何個もらったか ・どのように分けたか ・そのときの気持ち ・この分け方は適切か ・どんな分け方が適切か 不平等な状況を実感する。漠然とでも、何を基準で平等と考えるのかを自分の中で確認する。 イメージ共有 大学生と幼稚園児がかけっこをした場合。 ・同じく100M 走ること ・50M のハンデをつけること どちらが平等だと思うか? その基準は何か?	「声を出さずに誕生日順に並んで下さい」 「ではこれから皆さんにあめを配ります」	あめ	全員が一回は皆の前で発表をするように配慮する

<p>休憩 (5分)</p>	<p>気分をリフレッシュする 参加者と話す 展開の準備</p>			
<p>展開 (40分)</p>	<p>事例分類 (20分) 3つの性別にまつわる事例を挙げて、そのことは平等か不平等かを考える。 「どの立場から、どうしてそれを平等・不平等だと考えたのか」という理由を確認する。</p> <p>ロールプレイング (20分) 先ほどの事例の中か一つを選択し、その事例について、それぞれの立場を演じてみる。</p>	<p>①ある高校では、体育の時間にグラウンドでランニングを行います。 男子は4周、女子は3周走らなければなりません。</p> <p>②ルワンダでは2003年の憲法の改正により、「国会議員のうち一方の性別の議員の割合が30%未満になってはならない」と定められました。 それにより、国会議員の過半数を女性議員が占めるようになりました。</p> <p>③ニジェールの15歳から24歳の人で、文字の読み書きが出来る人は、男子の52%、女子の23%です。</p> <p>皆さんには1つ、納得できない事例を選んでもらいます。 そこに登場する人たちになりきってもらって、話し合いをしてもらいたちと 思います。 みなさんが納得できる方法を探し出してください。</p>	<p>事例カード</p> <p>役割カード</p>	<p>話をしない人がいないように、配慮する。</p>

<p>まとめ (10分)</p>	<p>事例の解説 ②クォータ制の説明 ③識字率の問題</p> <p>全体の振り返り 参加者の感想を聞く</p>	<p>今回は平等とは何かを考 えるためにこのワークシ ョップを行いました。</p> <p>みなさんの今日の感想を 教えてください。</p>	<p>パソコン プロジェクタ ー</p>	
----------------------	---	---	------------------------------	--

5：会場のセッティング

★司会、タイムキーパー ☆書記 ●ファシリテーター



6：使用する教材

アメ玉
事例シート
ペン

7：参考にした資料

川人貞史・山元一編『政治参画とジェンダー』東北大学出版（2007年）
宮島喬 他編『公正な社会とは 教育、ジェンダー、エスニシティの視点から』人文書院（2012年）
世界子ども白書 2012 http://www.unicef.or.jp/library/toukei_2012/m_dat05.pdf
外務省 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
など

8：その他